

教育長	総務課長	学校教育課長	生涯学習課長	総務課書記

令和7年

第12回定例教育委員会会議録

令和7年12月22日
鳥羽市教育委員会事務局 教育長室

令和7年 鳥羽市教育委員会会議録

第12回 定例会

場 所 鳥羽市教育委員会事務局 教育長室

期 日 令和7年12月22日（月）

開 会 午後1時30分

閉 会 午後3時00分

出席委員	委 員	中 村 和 久
	委 員	奥 村 楠 治
	委 員	中 島 幸 代
	委 員	杉 本 友 季
	教 育 長	岩 本 和 也

出席職員（説明員及び書記）	総務課長	山 本 勝 利
	学校教育課長	小 林 元 佳
	生涯学習課長 (書記)	中 村 由加利
	総務課長補佐	寺 本 純 子

件 名	日程第1 会議録（令和7年第1回定例会）の承認について
意見及び指摘事項 及び 事務局説明	【意見・指摘】 なし
議 事 結 果	承 認

件 名	日程第2 諸報告について
報 告 事 項	<p>【報告】</p> <p>1. 教育長諸活動 [場所]</p> <p>11月21日(金) 三重県教育委員会市町教育支援・人事監査局【教育長室】 学校統括安全衛生委員会【市西庁舎】 近畿日本鉄道鳥羽駅助役来局【教育長室】</p> <p>24日(月) 春雨供養祭【相差町菅崎】</p> <p>25日(火) 定例記者会見【市本庁舎】 ALT業務委託業者来局【教育長室】 南勢志摩地域教育長会議【伊勢庁舎】</p> <p>26日(水) 鳥羽市議会・本会議(上程)【本会議場】 イングリッシュデイ【鳥羽駅周辺】 第3回鳥羽市教育ビジョン策定委員会【市立図書館】</p> <p>27日(木) 大阪教育大学学術連携課来局【教育長室】</p> <p>28日(金) 一般質問打合せ【市長室】</p> <p>12月1日(月) 辞令交付式【市長室】 一般質問打合せ【市長室】 市校長会【市民体育館】 市長表敬訪問(小学生ロボコン)【市長室】</p> <p>2日(火) 鳥羽市議会・本会議(一般質問)【本会議場】</p> <p>3日(水) 鳥羽市議会・本会議(一般質問)【本会議場】</p> <p>4日(木) 鳥羽市人権啓発活動【鳥羽駅】 政策会議【市長室】</p> <p>5日(金) 鳥羽市議会・本会議(質疑)【本会議場】 鳥羽市中学校人権フォーラム【かもめホール】 靱渓奨学会理事長来局【教育長室】</p> <p>7日(日) 防犯暴力追放啓発活動【イオン鳥羽店】</p> <p>9日(火) 鳥羽市議会・予算決算常任委員会【議会委員会室】</p> <p>10日(水) 鳥羽ロータリークラブ図書寄贈式【市立図書館】</p>

	閉校記念行事事務局打合せ【教育長室】
11日(木)	臨時校長会【市立図書館】
	課長会議【市長室】
12日(金)	令和8年度当初予算2役ヒアリング【市長室】
	ALT業務委託業者来局【教育長室】
	市教頭会【市立図書館】
13日(土)	神島文化の集い【神島小中】
15日(月)	鳥羽市議会・本会議(表決)【本会議場】
	全員協議会【議会委員会室】
16日(火)	ALT業務委託業者来局【教育長室】
	鳥羽市生活安全推進協議会【市西庁舎】
	三教組南勢志摩支部役員来局【教育長室】
17日(水)	鳥羽高校訪問(平和教育)【鳥羽高校】
19日(金)	かもめ幼稚園クリスマス会【かもめ幼稚園】
20日(土)、21日(日)	山田優杯鳥羽エペ・フェンシング大会 【市民体育館】
22日(月)	第12回定例教育委員会【教育長室】
	市長表敬訪問(中学生レスリング)【市長室】

2. 諸報告

1. 教育長の業務報告

(教育長)

11月26日は、鳥羽駅周辺でイングリッシュデイを実施しました。本来は、ダイヤモンドプリンセス号の寄港に合わせて実施する予定でしたが、当日々強風のため寄港が中止となりましたので、鳥羽を訪れている観光客をターゲットに、弘道小学校の児童に鳥羽市の魅力や観光地を英語を使って伝えていただきました。子どもたちが作った案内板も使い、果敢に挑戦している姿が大変印象的でした。英語を使ってというところも大切ですが、やりとりに入るまでのコミュニケーションをしっかりとるところも重要だと感じました。今後のイングリッシュデイはこのような形に変えていくつつ、進めていけたらと考えています。次回は3月5日にダイヤモンドプリンセス号が寄港しますが、イングリッシュデイとして取り組む予定はありません。しかし、この機会を活用したいという学校があれば、今回のようなガイドを自主的に進めていけたらと思っています。

12月13日には、神島文化の集いに行かせていただきました。島民の方から人権教育講演会の講師としてご紹介いただいた中村智太郎さんに、講演をお願いしました。中村さんは、競泳でパラリンピックに5大会出場し、アテネ大会で銅メダル、ロンドン大会で銀メダルを獲得されています。講演で

は、子どもたちや島民の方に競技生活や私生活についてお話しいただきました。子どもたちにとって、幼い頃からさまざまな出会いを経験することは大切だと思います。他の学校にもいつでも行きますと言っていただけだったので、また機会があれば紹介をしていきたいと思います。

12月17日には、鳥羽高校の平和教育に行かせていただきました。原爆被害者の団体である日本原水爆被害者団体協議会三重県支部会長が講師として講演されました。講演は、全校生徒対象に行われ、終了後には校長室にて生徒代表者との座談会も実施されました。講演と座談会を通して、平和について考える時間になったと思います。

12月20日、21日には市民体育館で山田優杯鳥羽エペ・フェンシング大会が開催されました。今回で4回目の開催となります。男子エペシニアランキング2位の松本龍選手にもご来場いただき、2日間で全国から約100名の参加者が集まりました。大会期間中は、山田選手によるレッスンやトークショーなども行われ、さまざまな企画を交えた内容となりました。また、鳥羽高校1年生の宮浜嘉惟選手がカデ男子の部で準優勝するなど、鳥羽の選手も活躍し、全国レベルの中でいい経験ができたと思います。

2. 児童生徒及び学校の状況・情報交換

(1)各学校訪問の様子

(学校教育課長)

インフルエンザの状況ですが、11月下旬ぐらいに少し流行りだして、一旦落ち着きましたが、先週から再びインフルエンザが猛威を振るって、学級閉鎖や学年閉鎖が続いています。特に感染者が多い学年については、本来であれば閉鎖にするところですが、明日が終業式で今年最後の登校日となるので、校医の判断により閉鎖は行わず、終業式を迎えて終了することとなりました。

(教育長)

今週は今日と明日の2日間で終わりですので、校医と相談しながら、学級閉鎖等は行わず、このまま進める方針で対応しています。

(教育委員B)

12月15日に弘道小学校を訪問しました。校長先生からお話を伺い、授業も見させてもらいました。教職員は管理職を含め、女性が多く、男性教員の配置を求められていました。施設面では、特別教室に空調がないため、夏は違う教室に移動して授業していると聞きました。

	(教育委員C) 小学校6年生の学力調査の結果が良かったという話を聞きました。他に休み時間には1年生から6年生までがドッジボールなどをして、学年を超えて楽しく過ごしているとのことでした。空調面については、夏季は家庭科室が暑くなり過ぎ、調理実習が全くできないというお話をされていました。
	(教育委員D) 授業は、支援を必要とする児童生徒に対しても、先生が書き順を丁寧に分かりやすく教えていたので児童生徒に寄り添った指導だと思いました。また、最近は髪型を派手にしている児童生徒が目立ってきてているように感じます。どこの学校にも一定数いると思いますが、そうした児童生徒が目立っている状況です。昨年度の卒業式でも、成人式のように派手に着飾っている児童生徒が見られ、通達を出したと聞きました。
	(教育長) 特別教室の空調については、夏に調理実習ができないという話がありましたが、夏に必ず調理実習を行う必要はないため、調理実習のカリキュラムを考えて、エアコンが必要のない時期に計画的に実施することも考えられます。また体育についても、小学校3年生以上は保健の教科書を用いた授業があります。暑い時期は保健を教室で実施し、体を動かす運動は涼しくなってから行うなど、授業時期を工夫することができます。このように、カリキュラム・マネジメントの観点から、どの時期にどの授業を行うかをもう少し整理し、先生方にも工夫して活用していただきたいという趣旨の話は、校長会等でしています。
	(教育委員A) 学校訪問には行っていませんが、先ほどの髪型の件について、どの学校でもある話だと思います。中学校では校則で定められていると思いますが、小学校では定められていないのですか。
	(教育長) 小学校は定めていません。
	(教育委員A) 中学校では決まっているのですか。
	(学校教育課長) 自然な手を加えていない髪型ということで、学校によって基準がそれぞれ

異なると思いますが、スポーツの大会等では、髪を染めていると認められない競技もあるなどさまざまです。中学校は、校則や生活の心得で定められていることが多いです。

(教育委員C)

小学校の場合、校則は保護者の方に向けた内容ということになりますよね。その点を踏まえるともう少し踏み込んだ説明や発信をしてもよいのではないかと思います。

(教育委員A)

確かに、スポーツをしているとそういう場面を見かけます。少し気になる点もありますが、保護者の方は、「中学校に行ったらちゃんとするから」と言われることが多いです。今のうちにきちんとおいた方がいいのではないかと感じます。

(教育委員D)

小学校の段階でルールを緩めてしまうと、中学校に進学してから「きちんとしなさい」と切り替えるのは難しいという話も聞きます。

(教育委員A)

携帯電話についても同じだと思います。例えば、「小学校ではよくても、中学校では認められない」というように。

(教育長)

小学校については、学校で決めるような内容ではなく、家庭が決めることだと思います。

3. 市議会について

(1)補正予算

12月補正予算について、概要を各課長から説明を行った。

件 名	日程第3 議案第57号 鳥羽市立小中学校閉校記念事業費補助金交付要綱の一部改正について
担当課説明等	(総務課長) 資料に基づき説明 鳥羽市立小中学校閉校記念事業について、補助金の額を「補助対象経費の2分の1（上限額30万円）」から「補助対象経費（上限30万円）」へと変更するため、所要の改正を行うことを提案します。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議事結果	承認

件 名	日程第3 議案第58号 令和8年度土曜日の授業の実施（案）について
担当課説明等	(学校教育課長) 資料に基づき説明 「開かれた学校づくり」という土曜日の授業のねらいに沿った教育活動を年2回ないし3回実施するため、提案します。
委員質疑確認 及び 事務局応答説明	【質疑・応答／意見】 なし
議事結果	承認

件　　名	日程第4 その他
	<p>4. 今月のテーマ</p> <p>(1)鳥羽の教育【第3次鳥羽市教育ビジョン策定に向けて】</p> <p>(総務課長)</p> <p>教育ビジョンについては、策定委員会で協議を踏まえ素案がまとまりましたので、12月16日から1月13日までの期間でパブリックコメントを実施します。意見の提出は、教育委員会の窓口での受付のほか、市ホームページでも受け付けています。窓口等で閲覧できるように設置しています。</p> <p>(2)自転車用ヘルメット購入費補助金について</p> <p>(学校教育課長)</p> <p>購入チケットは、来年の3月までが使用期限です。</p> <p>(教育長)</p> <p>12月初旬にチケットを配布しています。12月12日に行われた新中学校の入学説明会でも周知していただいたため、今後購入者が増えることを期待しています。</p> <p>(3)その他</p> <p>・部活動の地域展開について</p> <p>(教育委員B)</p> <p>地域展開について、現在の状況を教えてください。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>今年度は、合同練習など実施しています。令和8年度から本格実施をする計画の中で、土日の地域展開を4競技で始めていきます。</p> <p>(教育委員B)</p> <p>4競技というのはどの部活動ですか。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>野球、剣道、バドミントン、バスケットの4競技です。</p> <p>(教育委員A)</p> <p>ソフトボールはいつからですか。</p> <p>(生涯学習課長)</p> <p>鳥羽東中学校と調整している状況で平日は授業後そのまま学校で部活動を</p>

行い、土日のどちらかを地域で行っていくということで、ソフトボールについてはもう少し詰めさせてもらってからになると思います。

(教育委員A)

答志のソフトボールと合わせてということですね。鳥羽東中学校にもソフトボールをしている生徒がいますが、現在は他の部活に入っています。学校として部活数を減らす方向で進めているのではないかでしょうか。部活動の地域展開については、教員の働き方改革という視点だけではなく、生徒がどういう学びを得るかという点に焦点を合わせていかないと、本来の目的からずれてしまうのではないかと思います。教員の都合や働き方改革の必要性は理解していますが、改めて考えていただきたいと思います。

(生涯学習課長)

バドミントンや剣道など、当初、平日も地域で行っていくという形で話が進みそうになりましたが、まずは休日のみとなりました。令和8年度から開始した後、状況を見ながら他の競技も含めて進めていきたいと思います。

(教育委員B)

会議当初の考え方は、子どもたちがスポーツを楽しむを中心とした部活動にするというものでしたが、途中からその趣旨が薄れてしまったように感じています。会議の中でも、子どもたちのためにやってほしいということを繰り返し伝えてきました。部活動の縮小が教員の働き方改革と関係していることは理解していますが、方向性が教員側に委ねられていることに疑問を感じます。教育委員会として方向性を示すことが必要ではないでしょうか。また、部員数だけで廃止を判断するのではなく、やりたい生徒がいる限り継続できるよう、部活動の理念を大切にしてほしいと思います。

(教育委員A)

反対に教員の立場からすると、やりたい教員もいるのではないかでしょうか。部活動を教えてくて教員になったという方も多く見られますので、一概に言えないと思います。

(教育委員B)

部活動の話の中で子どもたちが置いて行かれているように感じます。大人の都合で進めていること、時代の流れの中で、子どもたちの思いが十分に考慮されていないかもしれません、もっと子どもたちに目を向けてほしいと思います。地元の子どもたちも「あと何年したらこの部活はなくなる」と先生が言っていたと話しています。子どもたちよりも教員の方が重視されて

いるように見えます。教員の働き方に配慮することも大切ですが、それを前面に出すべきではないと思います。教員の中では、部活動の指導をしたいという方もいると思いますが、全体としてそういう流れになってしまっているように感じます。そのような流れをあんまり作ってほしくないと思います。

(教育委員A)

一度廃部になってしまうと、再び一から作り直すのは大変だと思います。廃部にする前に、そこまで考えてほしいです。

(教育長)

部活動の地域展開について、それぞれの立場や思いがあるので、大人も子どもも全ての意見を一致させることはなかなか難しいと思います。部活動の指導をしたくて教員になった方もいますので、兼業兼職ができる制度を設け、子どもたちがやりたいことができる環境を作る、あるいは残していくことが重要だと思います。希望する部分と現実的にできない部分があります。子どもの数が減少している中で、従来と同じ競技数を維持できるかというと難しい状況です。子どもの数の減少に加え、働き方改革以前の問題として、教員数も学級数の減少に伴い減ってきています。そうした理由でできない部分もあるということです。このバランスをしっかりと考へていかなければ、何も前に進むことができません。多少の衝突があったとしても、学校、教育委員会、地域の指導者の方々としっかりと話し合い、子ども第一という視点を中心しながら、できること、ここまでできるといった話し合いをこれからもしっかりとやっていかないといけません。これだけ人口も減ってきていて、いろんな部分で地方は厳しいという地域展開を、鳥羽に合った形の地域展開を話し合っていかないといけない時期にきてると思います。実際、今年に入ってからも地域展開の中で学校の考え方と教育委員会の考え方と合わない部分があり、再度話し合いをして保護者の方に説明をしたりしながら、調整をしているのも事実です。このように一筋縄ではいかない状況ですので、これからもいろいろな声を聞かせていただきながら、令和8年度がスタートして、まずは休日、次に平日というように、国の方針に少しでも合わせていけるようにご意見もいただきながら、進めていきたいと思います。

(教育委員A)

11月頃に三重県スポーツ協会で企業と連携する「鳥羽モデル」について発表を行いました。指導が可能な人材を企業に雇用してもらい、部活動の指導者として派遣していただく仕組みです。観光業や漁業といった地域の企業と連携して実施することで、企業側は雇用の確保につながり、学校側は指導者を確保することができます。双方にとってメリットのある「鳥羽モデル」

を構築してはどうかと提案させていただきました。

(生涯学習課長)

さまざまな競技があって子どもたちが自由に選べて全体的に市のスポーツを推進していくといいと思います。

・文化財について

(教育委員C)

郷土史研究をしている方とお話する機会があり、歴史上価値のあるものが発見された、面白いものが出てきたといった話を聞きました。そういった情報は教育委員会として把握しているのでしょうか。

(生涯学習課長)

文化財専門の職員がいます。直接話がいっているかどうかわかりませんが、何か見つかったときは連絡があります。

(教育委員C)

この会議の中で、教育委員会から新しい発見があったという話を聞く機会がなく、その点が少し弱く感じられました。高齢化の進行により、文化財や歴史について話を聞く機会が減ってきており、鳥羽にはまだ手つかずの歴史や文化が多く残っていると思います。そのような状況を踏まえ、教育委員会として、どのような取組を行っているのか、少し心配に感じています。

(生涯学習課長)

文化財調査委員会というのがあり、会議の中で話はされています。

(教育委員C)

歴史は、観光資源としても文化的資源としても非常に貴重なものだと思います。こうした点を積極的に発信することで、スポーツは苦手でも歴史や文化に興味を持つ子どもたちにも関心を広げられるのではないかと思う。さまざまな文化の多様性という観点からも、ぜひ光を当て、アピールしていただきたいと思います。

・定期船の最終便について

(教育委員A)

定期船の最終便が廃止されるという話を聞きました。その話を受けて、高校生の保護者からは「部活動ができなくなる」「下宿をしなければならなくなる」といった不安の声が上がっています。答志では、地域懇談会がまだ開

催されていない状況もありますが、現在利用できている交通手段がなくなることで、事情は理解できるものの、子どもたちの生活がより不便になることが懸念されています。これまで離島では、医師がいなくなり、学校が統合されるなど生活環境の変化が続いてきました。その上、定期船までなくなってしまうと、今後どのように生活していくべきかという声が住民から出ています。例えば、本土の安楽島からイオン鳥羽店に向かって道路が通行できなくなった場合、安楽島に人が住めなくなるのと同じ状況だと思います。そのような事態にならないよう、何とか対策を考えてほしいという思いがあります。定期船の問題は市全体に関わることですが、教育の観点からも発言してほしいという意見がありました。現在の状況や今後の見通しについて、分かる範囲で教えていただけますか。

(総務課長)

教育委員会としても、鳥羽東中学校や鳥羽小学校には離島から通学している児童生徒がいる状況を踏まえ、教育の観点からの要望は関係部署に伝えていきます。特に、登下校や下校後の船便など、学校生活の日課に影響する部分については、しっかりと伝える考えです。定期船のダイヤは基本的に多くの利用者を対象としたものとなっているため、学校側がダイヤに合わせるよう努力することになるとを考えられます。その中でも、現行のダイヤが維持されること、またもう少し早い時間帯の便があれば、学校や子どもたちがより負担なく通学できるという要望については伝えたいと思います。一方で、高校生になると通学時間の早朝・夜間の幅が広がり、小中学校の範囲を超えて生活全般の問題となるため、教育の枠組みとしては捉えにくい状況があります。そのため、現時点では教育委員会から高校生に関する要望は出しておりません。

(教育委員A)

高校生の下宿や通学費について、教育委員会から補助金が出ていますが、最終便がなくなることで、対象人数は少ないものの、補助金の支出が増える可能性があるのではないでしょうか。

(総務課長)

高校生の通学費補助の話は今回の減船とは別で、現在は船員不足により船便が維持できない状況への対応が問題となっており、実際の事情を踏まえて、どこを優先するかを選択していく必要があると考えられます。

(教育委員A)

神島についてはいかがでしょうか。以前学校訪問をした際、帰りの船が1

	<p>便あれば、寮を利用しなくてもよいのではないかという話がありました。</p> <p>(総務課長)</p> <p>寮を使わないというのは現場の考えだと受け止めています。</p> <p>(教育長)</p> <p>神島については、学校の日課を変更しないと本土からの通勤が難しく、始業時間を遅らせる必要がありますが、現実的ではないと考えています。</p>
議 事 結 果	承 認

午後3時00分 閉会